



関台だより

令和2年6月1日発行

第4号（6月号）

発行者 校長 相原 雄三

教育目標 ○よく考えてやりぬこう ○なかよく助け合おう ○つよい心とからだをつくろう

改めて「確信」したこと

校長 相原 雄三

2ヵ月あまりの臨時休業を経て、本日（6月1日）、学校を再開することができました。保護者の皆様には、お子様やご家族の感染リスクの回避、さらには、コロナ禍でのお仕事への対応等、これまでとは異なる日常の中で様々なご不安や忙しさを抱え、今日まで過ごされてきたことと思います。

そのような中で、お子様の健康観察をはじめ、家庭学習の課題の受け取りや提出、さらには、家庭での課題の取組やオンライン・ホームルームへの援助など、学校の取組の趣旨をご理解いただき、長きにわたってご協力いただきましたこと心から感謝申し上げます。

そして、この学校の取組に対して、来校した際にお会いした保護者の方々からは、温かい言葉がけをたくさんいただきました。

子供たちへのメッセージ動画を配信した際には、「うちの子は、何回も何回も先生たちの動画を再生して見えています」「学校に行きたくなるような質の高いメッセージ動画をありがとうございます」などの言葉をいただきました。家庭学習の課題を受け取り・提出に来られた際には、「毎週、丁寧に課題を準備していただいてありがとうございます」「インゲン豆の観察キット、おもしろいですね」「先生からのコメントが子供の励みになります」などの言葉をいただきました。また、Zoom を活用したオンライン・ホームルームについては、「こんなに早くにオンライン授業をしていただけるなんてびっくりしました」「親も子供と一緒に楽しみにしています」などの言葉をいただきました。そして、「本の福袋」には、子供たちから「楽しい本を選んでくれてありがとう」などのお礼の手紙をいくつももらいました。

今、振り返ってみると、こうした「子供たちの学びを止めない」という学校の役割を果たす取組は、もしかすると、保護者の皆様に負担をかけてしまう部分も多々あったのではないかと、申し訳なく思うところがあります。

しかし、その一方で、改めて「確信」したことがあります。それは、関台小の保護者の方々の素晴らしさです。「学校の取組の趣旨を理解し、応援してくださる」「子供たちのことを思って取り組むことには、惜しみなく協力してくださる」ということを、先

に述べた学校への温かい言葉がけとともに、子供たちの家庭学習の取組状況やオンライン・ホームルームへの参加状況などを通して実感しました。

これまでの二年間、学校運営の様々な場面で、保護者の方々の素晴らしさを幾度となく感じ、有難く思ってきました。さらに、この状況下でも、「子供たちの学びを止めない取組」を支えてくださる保護者の方々や頑張って課題に取り組んでくれた子供たちとの「つながり」を強く感じることができ、感慨無量の思いです。本当にありがとうございました。

学校が再開したとはいえ、「新しい学校生活様式」が求められる中で、教育活動の取組や教員の指導の在り方もそれに合わせたものに転換していかなければならず、模索しながら最適解を見つけていくこととなります。

例えば、朝の登校から教室に入るまでの流れをとっても、「健康観察カード」での検温チェックや、手洗い・消毒の励行、さらには朝の健康観察など、従前の取組よりも複雑になり、2ヵ月ものブランクがある子供たちが、いかにスムーズに授業に入れるようにしていくかが当面の課題となります。また、授業では、感染リスクが高いとされる、長時間の近い距離で向き合うグループ活動や密集する運動などを避けながらどのように工夫して行っていくかが課題となります。

コロナ禍においては、「収束」ではなく「終息」を待たなければなりません。そのため、今後も大きく先を見通した学校運営を行っていくことは難しく、区教育委員会からの指示を受けながらも、その都度、学校としての判断を行い、前へ進んでいくこととなります。引き続き、この期に抱いた「確信」をエネルギーにしながら保護者の皆様と連携を図り、関台小開校95周年となる教育活動を「子供たちの笑顔」「教職員の笑顔」「保護者・地域の方々の笑顔」で、価値あるものにしていきたいと考えています。改めて、保護者・地域の皆様におかれましては、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【お知らせ】

区教育委員会の判断で、本年度行うことになっていた給食室の全面改修工事は中止となりました。工事については、来年度以降となる予定です。

新しい「学校生活様式」を身に付けるために

高橋 望 (生活指導主任 第5学年担任)

文部科学省から、5月 22 日付で「学校の新しい生活様式」が示されました。本校でも「関台小版・新しい『学校生活様式』」を作成し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐための取り組みを行います。

手洗いや正しいマスクの着用といった基本的なことはもちろん、並ぶ時や登下校時には人との距離を空ける、給食は静かに食べるなど、今までとは違った生活様式を実践していかなければなりません。

今月は、その新しい学校生活様式を身に付けることを生活目標にし、学級・学校全体で取り組んでいきます。ご家庭でも、検温や水筒の準備など、様々なご協力をいただくこととなりますが、何卒よろしく願いいたします。

◇ 6月の生活目標 ◇

新しい「学校生活様式」を身に付けよう!

関台小版
令和2年6月

新しい学校生活様式

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために、次の「新しい学校生活様式」を身に付けるよう心がけましょう。

<p>◇人との間かくをあけよう!</p>	<p>◇正しくマスクを着けよう!</p>	<p>◇黙静をしよう!</p>
<p>◇石けんでていねいに手洗いをしよう!</p>	<p>◇自分の水筒で水分をとろう!</p>	<p>◇トイレにいったらマットで足をふこう!</p>

登校前・登下校

- ◇廊下から、静粛をしよう!
- ◇扉前のチェックをしよう! (靴、服、だぶと)
- ◇保健観察カードに記入をしよう!

◇登下校のときは、影の元と影をささないようにしよう!

授業

- ◇名前を呼ばれてから発言をしよう!
- ◇静かに聞いて 静粛をしよう!

休み時間

- ◇静粛は遅く静粛にしよう!
- ◇休み時間の終わったら手洗いをしよう!

給食

- ◇静粛をしながら食べよう!
- ◇箸の先にハンカチを置こう!

オンライン・ホームルームの取組へのご協力ありがとうございました!

ICT担当 平島 将崇

5月の11日(月)の週から、週に1回 Zoom を活用したオンライン・ホームルームを行いました。初めての試みでしたが、保護者の皆様のご協力もあり、多くの家庭の子供たちに参加していただきました。また、実施後には 268 の家庭からアンケートの回答がありました。9割以上の子供たちが「楽しかった」「少し楽しかった」と実感していたようで、とても嬉しく思いました。様々な感想をいただきましたので、一部抜粋して掲載します。

- ・久しぶりに子供の安心した顔を見ることができました。
- ・子供は、お友達や先生のお顔を見られただけでも、とても喜んでいました。
- ・画面上でみんなと会えたことがとても嬉しかったようです。
- ・担任以外の先生のお顔も拝見できて、「あー、学校だ!」とより嬉しくなったようです。
- ・とてもよかったです。ありがとうございました。実際に生でコミュニケーションを取ることができたことで、子供も「みんなも同じように頑張っていて、一人じゃないんだ。」と感じたように思いました。宿題へのモチベーションも上がったように思います。



Zoom を実施するに当たり、環境整備や ID・パスワードの入力、オンライン・ホームルーム中の操作など、各家庭でのご協力、本当にありがとうございました。

「本の福袋」を続けます!

永澤 永子 (図書主任 第2学年担任)

4月17日から始めた「本の福袋」は、子供たちに好評でたくさんの利用がありました。返却する際には、お礼の手紙を図書支援員の福島さんに書いて袋に入れてくれる子供たちもいました。コロナ禍の中、「本の福袋」の受け取り・返却にご協力いただきました保護者の皆様ありがとうございました。

6月から学校が再開しますが、引き続き、「本の福袋」を続けます。申し込み方は、これまでと同じです。学校のホームページの「本の福袋」をクリックして「オーダーフォーム」に必要事項を書き入れ送信してください。

本の受け取り・返却は、これまで保護者の皆様にお願いしていましたが、これからは、子供たちが学校の所定の場所で受け取り・返却をするようにします。

